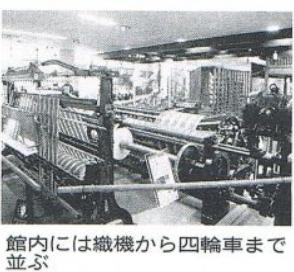


コーナーがあるほか、四輪車時の開発から生産までの工程も分かりやすく展示している。浜松の若い技術者の研究を支援する「スズキ財团」を設立したが、現在の鈴木修会長兼社長の「ところで技術者の支えていると言えるだろう。援もいが、ウチの最初のバイクがないじゃないか」のひと言から、かつての製品などの収集作業が始まつた。



館内には織機から四輪車まで並ぶ



本物の生産ラインまで持ち込んだ



第1号の二輪車と2代目社長の鈴木俊三氏の胸像

80年から収集した製品などは、本社敷地内にあった歴史うごとなり、05年から展示

これから、そこに移し「本格的な展示施設をつくろう」（山村茂之広報部長といふ）ことになり、05年から展示

歴史館の3階では「スズキのつくりの歴史」として、前身の鈴木式織機製作所が創業した1910年から最近まで販売された車、四輪車を時代背景な

り、車両を追つて、販売当時の時代背景などを交えながら紹介。2階では「スズキのものづくり」として、

■スズキ歴史館（静岡県浜松市南区増楽町1301）へのアクセス  
車の場合は、東名高速道路・浜松インターチェンジ（IC）か浜松西ICから約30分。鉄道ではJR東海道本線・高塚駅で下車し徒歩10分。バスはJR浜松駅（北口）から遠鉄バス浜名線に乗り「スズキ入口」もしくは「可美中学校」で下車し徒歩約5分。

開館時間は午前9時から午後4時半で、休館日は月曜日と年末年始

や夏期休暇など。入館料は無料だが、完全予約制のためスズキ歴史館のウェブサイト（<http://www.suzuki-rekishikan.jp/index.html>）から、または電話（053-440-2020）で事前予約をする必要がある。

## 再訪ミュー

### スズキの「もの

それは、例えは大阪万博の写真の前を歩くこと、大阪万博の国からこんじは、「聞こえてくるという掛けだ。こんなところも歴史館の楽しみ」と言える。

歴史館の3階では「スズキのつくりの歴史」として、前身の鈴木式織機製作所が創

業した1910年から最近まで販売された車、四輪車を時代背景な

り、車両を追つて、販売当時の時代背景などを交えながら紹介。2階では「スズキのものづくり」として、

■スズキ歴史館（静岡県浜松市南区増楽町1301）へのアクセス  
車の場合は、東名高速道路・浜松インターチェンジ（IC）か浜松西ICから約30分。鉄道ではJR東海道本線・高塚駅で下車し徒歩10分。バスはJR浜松駅（北口）から遠鉄バス浜名線に乗り「スズキ入口」もしくは「可美中学校」で下車し徒歩約5分。

開館時間は午前9時から午後4時半で、休館日は月曜日と年末年始や夏期休暇など。入館料は無料だが、完全予約制のためスズキ歴史館のウェブサイト（<http://www.suzuki-rekishikan.jp/index.html>）から、または電話（053-440-2020）で事前予約をする必要がある。

## 旅をするチャーリーを 落ち着く場所へと導く

スクリーンを飾った名車たち

## カーディーラーの店長に読んで もらいたいドラッカー

### 第10回「第三のマネジャーとは」

大内一敏  
スキル&モチベーション代表

スズキの「もの

の「ものづくり」と

の「ものづくり」と